

## 石楠花会通信 VOL. 76 (2019. 12)

皆さま如何お過ごしでしょうか？この秋はラグビーワールドカップや即位の礼で日本全国盛り上がりましたが、関東では近年になく自然の怖さが身近に感じられる年でした。つくづく日本は自然災害の多い国であることを痛感しました。被害にあわれた方々へ心よりお見舞いを申し上げます。令和の時代は自然と仲良く生活ができることを心の底からお願いしたいと思います。

さて今回の石楠花会通信は現役部員からの寄稿を中心にお届けいたします。先ず、今年度ワングルを引っ張ってくれた主将(3年)久保田悠斗君のヨーロッパ最高峰『エルブルス山』登頂の個人山行報告です。

### □エルブルス山 (5,642m) 個人山行のご報告

ヨーロッパ最高峰であるコーカサス山脈エルブルス山(5642m)へ行くには成田空港から、ロシア航空を使用してモスクワ経由でミネラルヌイエボディ空港へ向かいます。所要時間は計17時間半ほど。空港から車で3時間でエルブルス山へ向かうゴンドラ下に到着。ゴンドラでは、2200m付近から一気に3700mへと上がる。ツアーで行けばすべてガイドの方がやってくれるが、一人なのですべて自分で手配しました。(全てロシア語表記なので根気が必要でした)登山中は夏期でも厳冬期装備で行かないと凍傷の恐れがあります。私は今年8月29日～9月7日の10日間で行ってきました。以下その報告です。



『きっかけは、バイト先でのお誘いだ。「久保田くん。一緒に登ってみたいか？」と言われ、迷わず即答。しかし、3か月後、相手の都合により同行不可能に。心に決めたことだったのでそう簡単には諦めはつかない。不安は残るが、ここでやめてしまうと早くも負けた気がして単独登頂を決意。

3か月間の計画書づくりを経て、未開の地に一人で旅立つ。数日間の高度順応を終え、翌日深夜2時にアタック開始。

ライト一つ足元に照らされた暗闇の中、登りながら今までの自分を見つめなおす。7年間登り続けた山々。初めて登った筑波山。あの時の自分にとっては標高が高く少し緊張していたが、今となっては7倍以上もの高さがある山に登っている。初合宿で死ぬ気で付いていこうとした自分。忍耐力の訓練はそこから始まった。主将となった今、登山は誰よりも上にいたいと思い、体作りから始め、雪山やクライミングを始める。一種のプライドというものか。また、バイト先での色々な出会いによって考えの幅が広がった。『今出来ることをする』『過剰に恐れてどうする』そういう思いか



らこのチャレンジが生まれた。この挑戦がその思いや行動の集大成だと思うと、心にぐっとくるものがある。

無事、登頂を果たし、早々と下山を開始する。高山病で体は絶不調だが、だからこそ時間をかけて慎重に下った。行動時間は11時間25分。

お金を出してある程度出来てしまう世の中、チャレンジやリスクのせめぎあいに鈍感になり、なんでも自分の努力で達成したと錯覚してしまうことが多い。個人でやるから価値があるのだ。自分は何かが並外れて優れているわけではないが、幸運にも一度決めたことは結果がどうあれやってみる精神があった。一見不可能な目標に見えても、それを細かく分け部分的の一つずつ片付けていく。その過程で結果について深く考えてはならない。世界を見れば私より優れている人はごまんといる。しかし、やっと彼らの足元に立てるようになったと思うと、まだまだ自分には伸びしろを感じる。だが、今は周りの人に可能性を与えられることができなければそれで十分だと、あらためて考えさせられた自分にとっての大きなチャレンジでした。』

## □2019年度を振り返って

今年度は登山初心者、経験者ともに素晴らしい精神力、体力を垣間見ることができました。さらに、今年の夏は、プレ夏合宿3泊4日南アルプス縦走、夏合宿4泊5日北アルプス縦走(B隊は台風のため途中撤退)を行い、念願であった槍ヶ岳への登頂も果たし、天気にも恵まれました。

また、男子陣についてきてくれる女子部員もよく頑張ってくれたと思います。そして、この思い出を、つらいことや悲しいことに遭遇した時に、あんな所で頑張れたのだからと元気づける糧にしてもらいたいです。

### 【今年度合宿】

5月甲武信ヶ岳(1泊2日)

6月川苔山(日帰り)

7月鳳凰三山(1泊2日)

8月プレ夏合宿:南アルプス縦走(3泊4日)

夏合宿:北アルプス縦走(A隊4泊5日・B隊6泊7日)

\*B隊は大キレットを通り、奥穂高岳迄行く予定でしたが、台風の影響によりA隊と同様に表銀座縦走路に変更しました。(詳細は前号石楠花会通信参照願います)

10月大菩薩嶺(日帰り)

11月乾徳山(日帰り)

### 【今年度部員数】

1年5名・2年4名・3年4名・4年4名 合計17名

\*2019年11月現在

成蹊大学体育会ワンダーフォーゲル部の今年度の活動詳細は、石楠花会ホームページ上でその詳細が報告されています。

是非石楠花会ホームページで現役部員の活動をご覧ください。

石楠花会 HP:<http://shakunage.main.jp/>

## □来年度のワンダーフォーゲル部について

2020年から新体制で部活動を行います。来年度主将は現2年の三川真慧、主務は現1年の涌井光、会計は現1年の伊原稜子です。全員登山経験者となります。今後もワンゲルという部活を幅広く皆に知ってもらい、より大きな部活にしていけるよう精進したいと思います。また、来年度も引き続き、女性部員への勧誘を怠らずに頑張ります！部活での登山は個人の力だけでなく、団結力が大きく関係するため、現1、2年生には一人一人が責任を持ち、セルフコントロールができる先輩となってもらいたいです。今後ともワンダーフォーゲル部一同よろしくお祈りします。



### 【令和2年度執行部の皆さん】

左から

主将 三川くん

主務 涌井くん

会計 伊原さん

\* 彼らの初お目見えは令和2年2月1日の新年交歓会となります。是非お顔を覚えてください。

## □令和元年度石楠花会会費・寄付金払い込みのお願い

石楠花会会費は年間3,000円です。会費は石楠花会通信の発行、年間開催される石楠花会行事の費用補填の他、大学体育会ワンダーフォーゲル部の遭難対策費としての重要な資金です。現在10名を超える部員が在籍する現役ワンゲルの山登りをバックアップする為、一人でも多くのOBOGの方々からの会費納入をお待ち申し上げます。

会費払い込みは同封の『日本郵政』払込用紙または以下の『三菱銀行』口座へお願いいたします。複数年払いをご希望の方には5年分15,000円を上限としてお振込頂くことができます。たいへん恐縮ですが15,000円以上は寄付金として処理させていただき、ご芳名を石楠花会通信にて掲載させていただきますので何とぞご了承ください。

振込先: 【 ゆうちよ銀行 】口座番号「00120-4-358653」 加入者名「石楠花会」

【 三菱UFJ銀行 西川口支店 】普通 0610534 石楠花会幹事 松田武雄

### \* 匿名のご寄付を頂戴しました！お名前をお知らせ頂けませんか？

先日幹事宛ご寄付をお送り頂いた会員の方、よろしければお名前をお知らせ願えませんでしょうか？ご芳志はありがたく頂戴し、有効に活用させて頂きたいと思いますが、お名前を是非とも頂戴したく、お願い申し上げます。

## □令和元年度新年OGOB現役交歓会のご案内

今年度最後の石楠花会の公式行事のご案内です。この数年、若手 OGOB のご参加が少なく、現役学生も世代ギャップに戸惑ったりしています。そこで一人でも多くの OGOB の方にご参加して頂きたく土曜日の昼間に開催しています。今年も会場は58年次原田さんのご実家「シャン・ドゥ・ソレイユ」。舌の肥えたグルメを喰らせるベルギービールとお料理のお店です。現役部員17名も出席します。新執行部のお披露目の場となります。是非若手 OGOB の皆さんからの激励とご助言を頂きたく、一人でも多くのご出席者をお待ち申し上げます。

日時:令和 2年 2月 1日(土) 13:00~

会場:会場:『シャン・ドゥ・ソレイユ』 千代田区内神田1-10-61 Tel 03-5281-0333

会費:6,000円

申し込み方法:『石楠花会』HP への投稿又は幹事宛 Eメール、または今回同封の返信ハガキ(郵送の方)にて  
お願い申し上げます。

申込締切:令和 2年1月17日

## □虹芝寮のストーブが新しくなり、そして冬がやってきました！

踏高会熊崎さんからメールを頂戴しました。虹芝寮のストーブが今秋新しくなり、そして冬がやってきました。『11/19-20 に虹芝寮に行ってきました。20日は強い風の音で朝、目が覚めると外は一面の銀世界でした。雪線が低い標高まで降りてきて山はいよいよ冬本番の趣です☺2週間前に新調された薪ストーブの暖かさが心と身体に沁みました』

去る11月3日踏高会柿沼さんの背に担がれ、虹芝寮のストーブの世代交代が行われました。

『虹芝寮ファンの皆さま

令和元年、虹芝寮米寿のおめでたい年にストーブを新調できました。是非、虹芝寮におでかけください。

60周年のストーブとほぼ同型ですが、使いやすいようにアレンジしています。

-後略- 柿沼 恭介』



写真画像:踏高会「虹芝寮」HPより

私はまるで虹芝寮のストーブにあたってのように、ほっこりと心が温くなりました。昨日から関東は今年一番の寒さ、そして雨ですが、皆さんに暖かいお知らせをお届けしたいと思いました。少し早いのですが、皆さん、どうぞ良いお年をお迎えください。そして新年交歓会でお目にかかる事を楽しみにしております。

